

# 《ラ・グアルディアの<sup>サント・ニーニョ</sup>聖なる子》事件覚書

## —史料と研究史について—

林 邦 夫

(1986年10月15日 受理)

### A Note on the Incident of the Santo Niño de La Guardia : Historical Materials and History of Study

Kunio HAYASHI

#### はじめに

1967年11月、マドリードのユダヤ教・キリスト教友好協会 (Amistad Judeo - Cristiana) の総会で、同協会の指導者の1人である教区司祭 Vicente Serrano が《ラ・グアルディアの<sup>ニーニョ</sup>子供》の殺害の実在性についての疑問を投げかけた。1968年1月14日の王党派系の日刊新聞『ABC』紙上にこれに反駁する Manuel Romero de Castilla の論文が掲載され、1月20日には右派的な雑誌『フエルサ・ヌエバ (Fueza Nueva)』にも同じ主旨の論文が載せられたが、その後これらに反論を加える2編の論文が協会の会報に掲載された<sup>1)</sup>。このように現代においても反セム主義の問題と結びついた政治的トピックの題材となっている《ラ・グアルディアの<sup>ニーニョ</sup>子供》事件 (以下、事件と略記) とは一体如何なる事件であったのだろうか。

<表1> 事件の被告

	姓 名	本稿での呼称	居 住 地	職 業
	Alonso Franco	Alonso	ラ・グアルディア	商業・運送業
コ	García Franco	García	〃	〃
ン	Juan Franco	Juan	〃	〃
ベ	Lope Franco	Lope	〃	〃
ル	Benito García	Benito	〃	毘立て職人
ソ	Juan de Ocaña	Ocaña	〃	—
	Ça Franco	Ça	キンタナール (以前はテムブレーケ)	—
ユ	Mosé Franco*	Mosé	テムブレーケ	—
ダ	Yucé Franco	Yucé	〃	靴屋
ヤ	David de Perejón*	Perejón	ラ・グアルディア	—
人	Yuça Tazarte*	Tazarte	テムブレーケ	医師

\* 裁判時には既に死亡していたことを示す。

註) Alonso, García, Juan, Lope は兄弟, Mosé と Yucé は兄弟で Ça の息子。

資料) I. Loeb, "Le Saint Enfant de La Guardia", *REJ*, 15, 1887, pp. 204-206より作成。

この事件は、1490年6月初め頃に Benito García というコンベルソ（キリスト教に改宗したユダヤ人）がホスチアをもっていたことから逮捕され、その自供から6人のコンベルソと5人のユダヤ人（〈表1〉参照）が共謀してキリスト教徒の子供を誘拐して磔殺し、その心臓を取出してそれとホスチアによって異端審問から身を守るための魔術を行ったとして裁判にかけられ、1491年11月16日のアウト・デ・フェで処刑された事件である。事件に関して、私はその実在性を繞って実在説と虚構説とがあるとしてその主な論者を挙げ、根本史料の存在も紹介して極く簡単に触れたことがあったが<sup>2)</sup>、今回改めて事件についてより詳細な検討を加えることにした。本稿はそのための準備作業として史料と研究史の整理を行い、今後の研究の方向を確定しようとするものである。なお、事件に関する主な研究課題としては実在性の他に、事件の影響（とりわけ1492年のユダヤ人追放令への影響）の問題があると言えるが、本稿では専ら前者の問題に焦点を絞ることにする。

## I

〈表2〉 《ラ・グアルディアの子供<sup>ニーニョ</sup>》関係史書（16-19世紀）

著者（地位・身分）	書名	出版地	出版年	収録史料 <sup>1)</sup>
1 Rodrigo de Yepes （マドリードの San Jerónimo el Real 修道院の教授・説教師）	Historia de la muerte y glorioso martirio del Sancto Innocente que llaman de la Guardia	Madrid	1583	2, 4, 6, 7 <sup>2)</sup>
2 Sebastián de Nieva Calvo （学士、テムブレケ出身、異端審問所書記・捜査役）	El Niño Inocente, hijo de Toledo y mártir de la Guardia	Toledo	1620	4
3 Antonio de Guzmán （履靴三位一体修道会士）	Historia del Inocente Trinitario, el Santo Niño de la Guardia, natural de la ciudad de Toledo y oriundo del reyno de Aragón	Madrid	1720	9
4 Martín Martínez Moreno （博士、ラ・グアルディアの主任司祭）	Historia del martirio del Santo Niño de la Guardia, sacada principalmente de los procesos contra los reos y otros testimonios existentes en el archivo parroquial de dicha villa	Madrid Madrid	1786 1866 <sup>2)</sup>	9
5 Paulino Herrero （トレード教会受祿聖職者）	Breve resumen de la historia del Santo Niño Inocente, Cristóbal	Toledo	1853	
6 Felipe García	El sepulcro del Santo Niño de la Guardia	Toledo	1883	

1) 後出IIでの史料1-9を番号で示す

2) J. Simón Díaz, *Impresos del siglo XV: Religión*, Madrid, 1964, pp. 30-31に本書の内容の詳しい記載があるが、これらの史料が含まれると思われる。fols. 2r-73v. については Texto とあるのみ。

資料) F. Fita, “La verdad sobre el martirio del Santo Niño de La Guardia, ó sea el proceso y quema (16 noviembre, 1491) del judío Yucé Franco en Ávila” *BRAH*, 11, 1887, p. 112 n. 2; Id, “Memorial del Santo Niño de La Guardia, escrita en 1544,” *BRAH*, 11, 1887, p. 160より作成。

さて、事件当時はその実在性を疑うキリスト教徒は殆どいなかったものと想像され、人々の間には《子供》を殉教者として崇敬する風潮が広がっていき、《子供》は《聖なる子》と呼ばれるようになった。《子供》が殺害されるまで置かれていたと信じられた被告 Juan の家は毀たれ、その跡地に礼拝堂が建てられ、殺害現場とされた洞窟にも庵が建てられ、埋葬場所とされた Santa María de Pera 教会近くの場所にも礼拝堂が建立された。《子供》はラ・グアルディアの保護聖人となり、5月20日、後には9月20日が祝祭日となった<sup>3)</sup>。《子供》の崇敬は今日でも盛んで、それを信心すると子供の病氣治癒に効験があるとされている<sup>4)</sup>。

《聖なる子》はやがて文学作品の題材にもなり、1592年には人文主義者 Jerónimo Ramírez がラ・グアルディアの領主の依頼でラテン語詩 *De raptu innocentis martyris guardiensis, libri sex*, Madrid, 1592を作成しており、文豪 Lope de Vega (1562-1635) も戯曲 *El Niño Inocente de la Guardia* を、劇作家 José de Cañizares (1676-1750) も *La viva imagen de Cristo* を著わしている<sup>5)</sup>。絵画の分野でも Francisco Bayeu Subias (1734-1795) がトレード大聖堂の回廊に《子供》を主題とするフレスコ画を描いている<sup>6)</sup>。また16世紀後半から19世紀にかけて《子供》を対象とする史書が数冊著わされているが、これらを纏めると<表2>のようになる。表に示したようにこれらの史書にも既に史料を収載しているものがあるが、それらを含めて事件に関する史料を次に見ていくことにする。

## II

以下では、事件に関する諸史料を作成年代順に紹介し、Fita に依拠しながら史料批判を加えることにする。

### 史料1 Yucé Franco に対する裁判の一件書類 (1490-91年)<sup>7)</sup>

異端審問所の3人の書記 Martín Pérez, Juan de León, Antón González によって作成された事件に関する最も重要な根本史料である。表紙を含めて48葉から成る手稿の原本であり、1884年にマドリッド市立文書館 (Archivo municipal de Madrid) 館長の Timoteo Domingo Palacio が入手し、その写しを王立歴史学会 (Real Academia de la Historia) に提供したのをうけて、Fita が原本と照合しながら手を加えて、1887年にそのすべてを活字化した。館長が入手した詳細な経緯は不明だが、<表2>の García の書物に、原本がグワダラハラで発見され、館長に引渡されたという記述がある<sup>8)</sup>。Fita はこの文書を65の部分に区分けし、内容から以下の八つの部分に纏めている<sup>9)</sup>

(〔 〕内の数字は文書番号を示す)。

- (1) 検察官による起訴と求刑 (fols. 1 r. - 9 r.) [1-5] (9 v. は白紙)
- (2) 被告自身の供述 (fols. 9 r. - 20 v.) [6-19]
- (3) 被告に関する証言 (fols. 20 v. - 26 r.) [20-44]
- (4) サラマンカにおける陪審員の評決 (fols. 27 r. - 27 v.) [45-46]
- (5) 証言の公表。被告による証言への反駁。被告に対する拷問と供述 (fols. 28 r. - 36 v.) [47-52]

〈表3〉 裁判の経過

日	付	場	所	文書番号	内	容	異端審問官・補佐人	証人	文書作成者 (書記)
1490年6月6日	ア	スト	ル	[33]	Benito の供述				
7月19日	セ	ゴ	ビ	[29]	Antonio de Ávila の証言				
8月27日	ア	ビ	ラ	[1]に所収	Tomás de Torquemada (異端審問長官) の V. /C. /S. への委任状			Va./T. など	A F
10月26日	セ	ゴ	ビ	[31]	Alonso Enríquez の証言				
10月27日	〃	〃	〃	[7]	Yucé の供述				
10月28日	〃	〃	〃	[8]	Yucé の供述				
12月17日	ア	ビ	ラ	[1]	①G. による委任状(前出)の提出 ②G. による起訴状の提出 ③Yucé による起訴事実の否認 ④異端審問官が Yucé の弁護人に Sanc を、訴訟代理人に Juan de Pantigoso を指名		V./C./S. 〃 〃 〃	Go./L./N. 〃 〃 〃	P. 〃 〃 〃
12月22日	〃	〃	〃	[2]	①Yucé, 訴訟代理人を Martín Vasques とすることに同意 ②Vasques による抗弁書 (Sanc 署名) の提出 ③異端審問官, Vasques より職務誠実遂行の誓約を得る		〃 〃 〃	Ve./PF. Sa./L./Ba. 〃	L. 〃 〃
1491年1月10日	〃	〃	〃	[9]	①Yucé による供述 [7] [8] の確認 ②Yucé の供述 ③Yucé による供述 [9] ②の確認		inq. <sup>1)</sup> /Ga./B. 〃 S./Ga./B.		I.
1月21日	〃	〃	〃	[30]	Antonio de Ávila による証言 [29] の確認		V./C./Ga./B.		
1月22日	〃	〃	〃	[3]	抗弁書 [2] ②への G. の反論。Pantigosa 同席		inq.		
2月12日	グ	ワ	ダ	[4]	Pedro González de Mendoza (トレード大司教) による V./C./S. への委任状			Go./L.	P.
4月9日	ア	ビ	ラ	[13]	①Yucé の供述 ②Yucé の供述		V./C. 〃		
4月10日	〃	〃	〃	[14]	①Yucé による供述 [13] ①②の確認 ②Yucé の供述 ③Yucé による供述 [14] ②の確認		inq./Ga./B. 〃 〃		

日	付	場	所	文書番号	内	容	異端審問官・補佐人	証	人	文書作成者 (書記)
4月10日	ア	ビ	ラ	[10]	①Yucéの供述 ②Yucéによる供述[10]①の確認 Yucéの供述	V./C. inq./Ga./B. inq.				
5月7日		〃		[11]	①Yucéの供述	V./C.				
6月9日		〃		[12]	②Yucéによる供述 [12]①の確認	V./B./Gi.				
7月19日		〃		[15]	①Yucéの供述 ②Yucéの供述 ③Yucéによる供述 [15]①②の確認	V./C./B./Gi V./C. inq./B./Va.				L. 〃 〃
7月20日		〃		[36]	①Çaの供述 ②Çaによる供述[36]①の確認 Yucéの供述	inq./B./Gi. C.				
7月28日		〃		[16]	①Yucéによる供述 [16]の確認	C./B./Gi.				
8月1日		〃		[17]	②Yucéの供述 ③Yucéによる供述 [17]②の確認	〃 B./Gi.				
9月16日		〃		[32]	④Yucéの供述 ⑤Yucéの供述 ①Yucéの供述 ②Yucéによる供述 [32]①の確認 Benitoの供述(拷問) <sup>2)</sup>	C./B./Gi. 〃 S. S./Ga./B. inq.				
9月24日		〃		[26]	Yucéの供述	inq./dep. <sup>3)</sup>				
9月26日		〃		[18]	Juanの供述(拷問)	〃				
9月28日		〃		[20]	①Juanによる供述 [20]の確認	inq./dep.				
9月29日		〃		[21]	②Juanの供述 Ocañaの供述(拷問)	〃				
9月30日		〃		[23]	Ocañaによる供述 [23]の確認	inq./dep.				
10月1日		〃		[24]	Benitoの供述	inq.				
10月8日		〃		[37]	Yucéの供述	S.				
10月11日		〃		[19]	①Ocañaの供述	S.				
10月11日		〃		[42]	②Ocañaによる供述[42]①の確認 Yucé, Benito, Ocañaに対する対決尋問	inq./dep. V./S.				L.

日	付	場	所	文書番号	内	容	異端審問官・補佐人	証人	文書作成者 (書記)	
10月17日	ア	ビ	ラ	[44]	Yucé, Ça, Juan に対する対決尋問	<p>①Benito による供述 [26] の確認※<sup>4)</sup></p> <p>②Benito の供述</p> <p>①Benito による供述 [33] の確認※</p> <p>②Benito による供述 [33] の一部訂正</p> <p>③Benito による一部訂正 [34] ②の確認</p> <p>Benito による供述 [37] の確認※</p> <p>Ocaña の供述</p> <p>①G. による追加起訴</p> <p>②Yucé による追加起訴事実の否認</p> <p>G. による証拠 (証言) の提出</p> <p>Juan による供述 [21] ②の確認※</p> <p>①Ocaña による供述 [23] の確認※</p> <p>②Ocaña の供述</p> <p>Benito による供述 [27] の確認※</p> <p>Benito による供述 [34] の確認※</p> <p>Benito による供述 [38] の確認※</p> <p>Ocaña による供述 [40] の確認※</p> <p>S. がサラマンカの San Esteban 修道院に下記の7人を召集し, Yucé の裁判に対する評決を求め。Juan de Sanctispiritus (ヘブライ語学教授) / Br. / Pe. / Antón Rodríguez Cornejo ( Liber sextus, Clementinae 教授) / Diego de Burgos ( グラティアヌス教令集教授) / Juan de Covillas (カノン法教授) / Sebastián de Huete ( San Esteban 修道院修道士)</p> <p>G. による証拠 (証言) の公表 (第1次)</p> <p>7人による評決 (有罪・俗権への引渡し)</p>	V. / S. S. / B. / Se. 〃 〃 〃 〃 S. / B. / Bl. S. V. / S. 〃 inq. inq. / B. / Se. S. / B. / Se. 〃 inq. / B. / Se. 〃 inq / B. / Bl. inq. / B. / Se. S.	Ve. / Be. / G. 〃 〃	L.	
10月20日	〃	〃	〃	[27]						
10月20日	〃	〃	〃	[34]						
10月20日	〃	〃	〃	[38]						
10月20日	〃	〃	〃	[40]						
10月21日	〃	〃	〃	[5]						
10月21日	〃	〃	〃	[6]						
10月21日	〃	〃	〃	[22]						
10月21日	〃	〃	〃	[25]						
10月21日	〃	〃	〃	[28]						
10月21日	〃	〃	〃	[35]						
10月21日	〃	〃	〃	[39]						
10月21日	〃	〃	〃	[41]						
10月25日	サラ	マ	ンカ	[45]					Juan Lopes de Palacios Ruvios ( 学士) / Juan Peres ( 礼拝堂付司祭)	L.
10月26日	ア	ビ	ラ	[47]					Ba. / Be. <sup>5)</sup>	P.
10月28日	サラ	マ	ンカ	[46]					J. Lopes de Palacios Ruvios / J. Peres	L.

日	付	場	所	文書番号	内	容	異端審問官・補佐人	証 人	文書作成者 (書記)
10月29日	ア	ビ	ラ	[48]	①Yucé による公表された証言 [47] への抗弁書 (Sanç 署名)の提出 ②抗弁書[48]①への G. の反論と Yucé の陳述 ③G. がYucé を拷問にかけよう要求 異端審問官による結審宣言	①Yucé に対する15項目の尋問事項 ②Yucé による回答 (拷問) Ça の供述 (拷問) Juan の供述 (拷問) ①Yucé による尋問への回答[50]②の確認 ②Yucé の供述 ③Yucé の供述[51]②の確認 ①Ocaña の供述 ②Ocaña による供述[53]①の確認* Ça による供述[54]の確認 ①Benito による供述 ②Benito による供述 [58]①の確認 Yucé の供述 ①G. による証拠 (証言) の公表 (第2次) ②公表された証言に対する Yucé の抗弁と G. の反論	V.	Ve./Ba.	P.
10月31日	〃	〃	〃	[49]			〃	〃	〃
11月2日	〃	〃	〃	[50]			V./S.	Ve./Ba./N.	〃
11月3日	〃	〃	〃	[54]			〃	Be./M.	Go.
11月3日	〃	〃	〃	[56]			〃	〃	〃
11月4日	〃	〃	〃	[51]			inq.	〃	L.
							V./S./Ga./B.		〃
11月4日	〃	〃	〃	[53]			〃	〃	〃
11月4日	〃	〃	〃	[55]			S.	〃	〃
11月4日	〃	〃	〃	[58]			S./Ga./B.	〃	〃
							inq./Ga./B.		〃
11月5日	〃	〃	〃	[52]			V./S.	〃	L.
11月7日	〃	〃	〃	[61]			V.	Ve./Be.	P.
							〃	〃	〃
11月11日	〃	〃	〃	[60]			V./S.	〃	P.
11月12日	〃	〃	〃	[57]			inq./Ga./B.		Go.
11月14日	〃	〃	〃	[59]			inq.		

日	付	場	所	文書番号	内	容	異端審問官・補佐人	証人	文書作成者 (書記)
11月15日	ア	ビ	ラ	[62]	Yucé による Mosé, Tazarte, Perejón に関する供述の確認*	に関する	V.		P.
11月16日	〃	〃	〃	[63]	Yucé に対するアウト・デ・フェ ①判決 ②Yucé による判決の確認 ③Yucé 処刑 (罪状承認) ④Benito 処刑 (罪状承認) ⑤Ocaña 処刑 (罪状承認) ⑥Juan 処刑 (罪状承認) Gabriel Sánchez の証言 Juan de Gómez の証言	V./S./G. P./市参事会員 7人/Pe./Br./ RV. など Sa./L. 〃 〃 〃	Go./P./L.		
11月17日	〃	〃	〃	[65]					Go.
11月18日	〃	〃	〃	[64]			V./S./Ga./B.		〃

## 〔人名略語表〕

- AF = Antonio de Frias (アビラ司教座教会書記)  
 B = Juan Blazques (異端審問官補佐人, 異端審問所礼拝堂付司祭)  
 Ba = Christóbal Barriga (異端審問所守衛)  
 Be = Francisco Bezerra (獄吏)  
 Bl = Juan Blazquez (異端審問官補佐人, アビラ教会聖堂参事会員)  
 Br = Diego de Bretonia (サラマンカ大学聖書学教授)  
 C = Juan López de Cigales (異端審問官, クエンカ教会聖堂参事会員)  
 D = Rodrigo Dávila (パレンシア司教)  
 G = Alonso de Guevara (異端審問所檢察官)  
 Ga = Juan Gallego de la Coruña (異端審問官補佐人, アビラの San Tomás 修道院修道士)  
 Gi = Gil (同上)  
 Go = Antón González (異端審問所書記)  
 I = Pedro Iniguez de San Martín (同上)  
 L = Juan de León (同上)  
 M = Diego Martín (異端審問所拷問吏)  
 N = Juan de Navas (異端審問所守衛)  
 P = Martín Pérez (異端審問所書記)  
 PF = Pedro de Frias (異端審問所収納吏)  
 Pe = Antonio de la Peña (サラマンカの San Esteban 修道院長)  
 RV = Rodrigo Vela (サラマンカの San Francisco 修道院長)
- S = Fernando de Santo Domingo (異端審問官, ドミニコ会修道士)  
 Sa = Álvaro de Sant Estevan (アビラのコレヒドール (国王代官))  
 Se = Juan de la Serna (異端審問官補佐人, アビラ教会聖堂参事会員)  
 T = Tristán de Medina (アビラ教会聖堂参事会員)  
 V = Pedro de Villada (異端審問官, レオン教会 San Marcelo・ブルゴス教会 San Millán 修道院長)  
 Va = Alonso de Valisa (ドミニコ会修道士)  
 Ve = Nicolás Velón (異端審問所執達吏)
- 〔註〕  
 1) 異端審問官であることは判るが、個人名を挙げていないもの。但しその場合でも前後関係から個人名の特定出来るものは除く。  
 2) 供述が拷問によって得られたものであることを示す。  
 3) 異端審問官補佐人であることは判るが、個人名を挙げていないもの。但しその場合でも前後関係から個人名の特定出来るものは除く。  
 4) 確認が檢察官からの異端審問官に対する要求によってなされたことが明記されているもの。  
 5) “francisco becerro criado del Señor alguacil velón” とあるが、“francisco bezerra carcelero” と同一人物であると判断しておく。

